

# 摩周丸での特別記念局運用

清水 深海 (JA8WNR) 北斗市

## ●摩周丸での公開運用『8J8HAM』

JARL 渡島檜山支部では、第 8 回北海道ハムフェアを PR する特別記念局『8J8HAM』を、6 月 20 日から 10 日間運用しました。その最終 2 日間は摩周丸での運用となりました。

摩周丸は 1988 年 3 月 13 日、青函連絡船最後の航海を終えた後、産業遺産として保存・公開されています。操舵室(ブリッジ)や無線通信室は当時の状態のまま残され、見学が可能です。その歴史や仕組みを学べるパネル、模型、映像も展示されています。

## ●公開運用 1 日目 6/28(土) 気温 28°C

役員と協力会員は午前 8 時 30 分に集合し、機材や書類を搬入。その後、無線室周辺の甲板でアンテナ(HF 短波帯短縮ダイポール)の設営を行いました。全員が経験豊富で作業が順調に進み、無事に怪我もなく設営完了。皆さんの充実感と笑顔が印象的でした。

試験電波の発射では最小電力から始め、近隣の船舶や建物への干渉を確認しながら ON-AIR。HF や VUHF とともに函館市近郊や JA 各エリアから多くのコールをいただき、一時パイルアップとなる場面も。まあまあのコンディションで、参加局は時間の許す限り特別記念局の PR に貢献されました。あ

という間に時間が過ぎ、翌日またの再会を約束して解散となりました。

## ●公開運用 2 日目 6/29(日) 気温 27°C

集合時間は午前 9 時 30 分。この日は函館マラソンが開催されており、一時的な道路通行規制があったため、早めに現地に到着しました。予想通りコンディションは良好で、JA 各エリアから強い信号が入感。特に 28MHz でのパイルアップは見事でした。

また、体験局 4 名(YL1 名)が活発に QSO に挑戦し、記念局に楽しい思い出ができたとのこと。感謝の言葉もいただきました。撤収も準備同様、経験豊富な皆様の協力ですmoothに終了。

摩周丸での運用を含めた 10 日間の 8J8HAM の合計 QSO 数は 1,651 局。次年度も摩周丸から地域の PR に取り組みたいと思っています。

